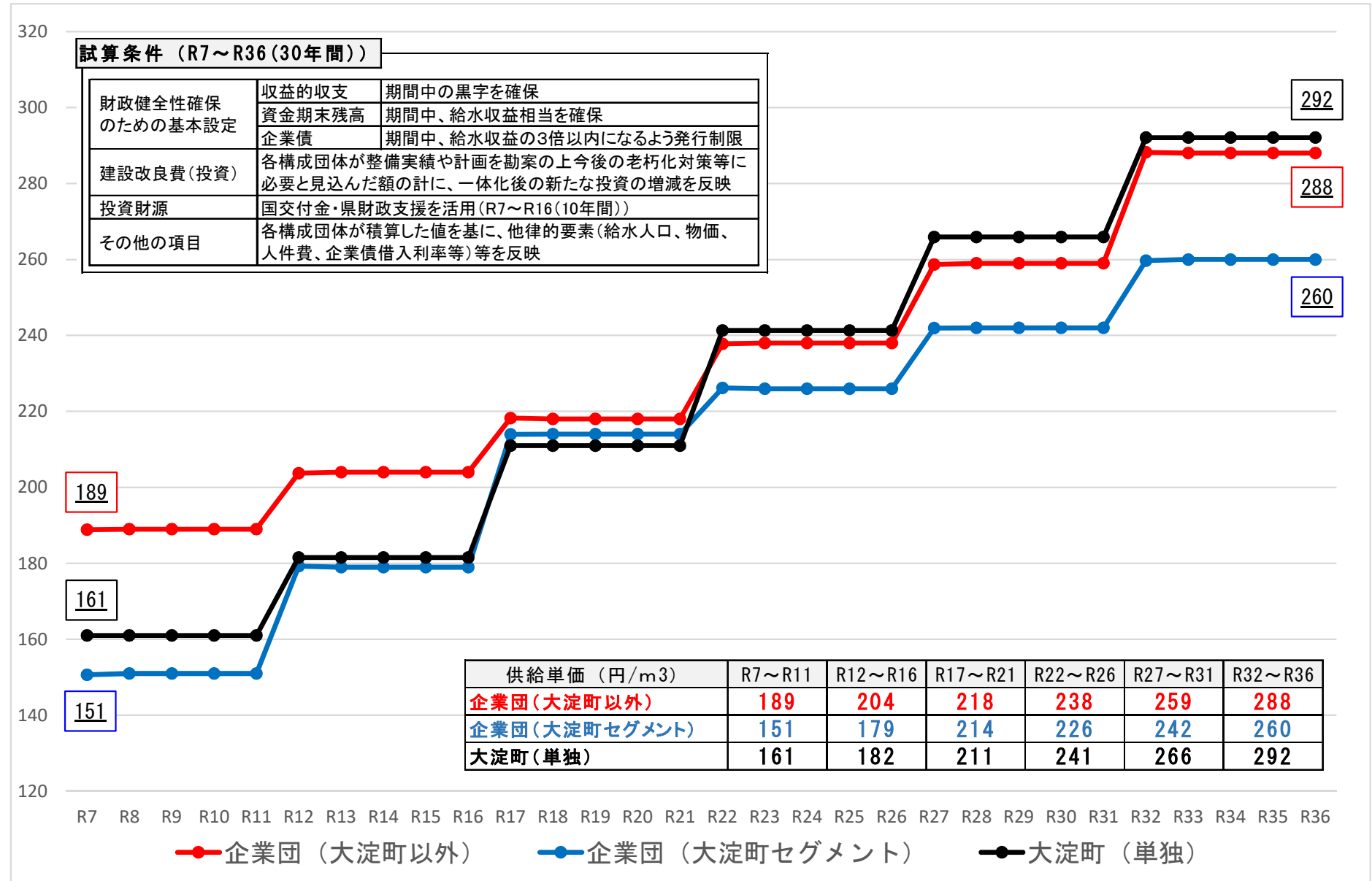


大淀町供給単価の試算結果（R6年7月）

参考資料3



将来にわたり、安心・安全・安価な水道を維持するため、水道の広域化について協議しています。

課題 1

人口減少などにより、**料金収入が大幅に減少** 約30年後

水道事業は、原則、水道料金で運営しており、料金収入の減少は経営に大きく影響します。

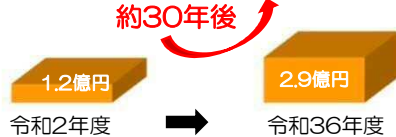


給水収益の将来見通し
(今の料金で推移した場合)

課題 2

施設の老朽化などにより、**更新に多額の費用が必要** 約30年後

整備した年代を考えると、施設の更新が今後本格化するため、多額の費用が必要となります。



更新費用の将来の見通し

課題 3

水道事業を支える**人材が不足** ピーク時に比べて半分

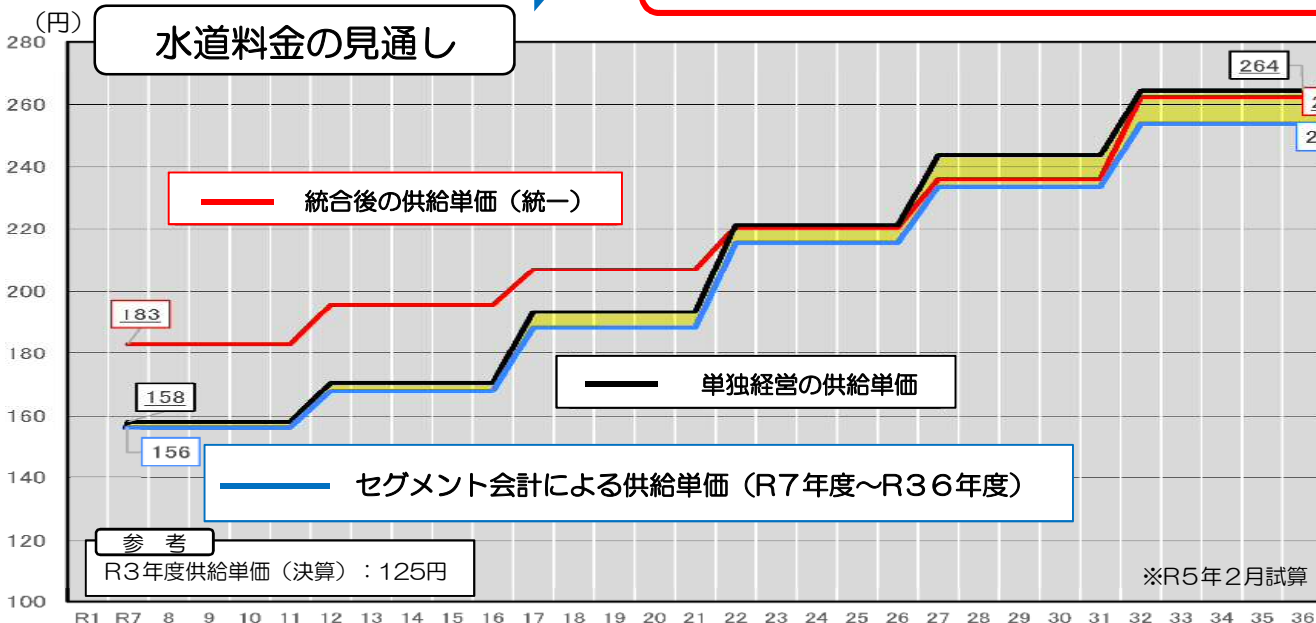
水道職員は、熟練職員の退職等によりこのままでは技術の継承が懸念され、サービスの低下を招くおそれがあります。



職員減少による人材不足

広域化の効果

- 施設の更新や整備に**国や県の支援**を受けられ、**耐震化・強じん化**等が進む (当初の10年間)
- 災害時や不慮の事故による**断水を未然に防ぐための対応を強化**
- 大淀町は広域化後も、一定期間 (最大30年間) **別料金の設定により安い料金**で使用できる (セグメント会計)
- 人的支援として市町村域を越えた**人員・ノウハウの有効活用が可能** 等



セグメント会計の料金

セグメント会計のルールにより、施設の更新・整備に対して**国や県の支援**を受けることで**費用を削減**するなどの効果が見込めることから、**最大で30年の間、料金を低く抑える**ことが期待できます。

…セグメント会計による料金効果

【お問合せ先】
大淀町上下水道部
(電話) 0747-52-0137

水道の広域化について
詳しい内容は
こちらから

